

桜井 順

1934年3月 東京麻布生まれ(本名:峯夫)祖父、父、と3代続いて慶応義塾幼稚舎～経済(理財)学部卒。商社勤務1年でドロップアウト、三木鶏郎の「冗談工房」に参加、ラジオ・テレビ、広告の世界に入る。以降、作詞・作曲屋として世を渡る。
筆名:桜井順、能 吉利人、水木ひろし。1964年 音楽事務所「BRAIN-JACK」設立、現在に至る。



(土屋耕一氏による似顔画)

作品リスト:

★個別CM

「サッポロビールの歌」1957年(画面サラリーマン役に若き日の小林桂樹)
歌唱は当時発足したばかりの東京混声合唱団。これが最初に書いたCM。

「お正月を写そう」フジフィルム
「ブタブタ子ブタ」エースコック
「マスカット・キャンディ」カバヤ
「トヨタ・グループの歌」

「東急グループの歌」
「三菱グループの歌」
「オレンジ50」サントリー
「マダム・ヤン」ハウス食品
「電子リコピー」リコー
「ハイ・ミスター・ダッシュ」ライオン
「フルーツ・カルピス」カルピス
「ロバート・ブラウン」キリン・シーグラム
「かつお風味のほんだし」味の素
「思い出してウクレレ」サントリー（スリー・グレイセス：歌）
「石丸電気の歌」石丸電気
「SUICAならばモンダイ無いのに」JR東日本
「DELZE」パチンコ八号線
「DAKARA」サントリー

などなど約3000本

*この内、約100本を収めたCD「桜井順CMworks」が発売されている

★シリーズ・CM

「LCメイト」シャープ（1976～1981）
「リーガル」リーガル製靴（1977～1989）
「お買物クマさん」西武百貨店（1994～ ）

★資生堂CM

「ファッション・ベール」（1963年：ヴェニスCMフェスで日本初の銀賞）
「チェリー・ピンク」（安田章子、後の由紀さおり：歌）
「ベビー化粧品」（岸洋子：歌）
「ピンク・ポップ」（スリー・グレイセス：歌）
「ラブリー・ユー」（加藤和彦：歌）
「ラブ・イン・カラー：平和のWAの中で」（田中のり子：歌）
「春なのにコスモスみたい」（金子文枝：歌）

「ほほ・ほんのり染めて」(笈田敏夫・宇治かおる:歌)

「図書館」

「MG5」(デューク・エイセス:歌)

「ブラバス」

(などなど、1973年まで杉山登志ディレクターとのコラボ、約150本)

その他:

「ガラスのヴァイオリン」(vn. 前橋汀子)博報堂制作ACCグランプリ

(90秒のヴァイオリン・コンチェルト)

★野坂CM

「ソ・ソ・ソクラテス」サントリー

「サンヨー・レインコート」三陽商会

「ダニ・アース」アース製薬

「キャビン・85」専売公社

「ルーム・ランナー」

「農協CM」1987・88年

などなど多くはゲリラ的CM。

★《コッチで勝手にCMソング集》(1993年)(私家版CD)

バブル弾けて一気に沈滞したCM界への応援歌(歌手ノサカ+銀座・愛の元少女合唱隊)

「1993へのメッセージ」

「生き残れ少年少女」(農協応援歌)

「コココーラ小唄」(日米修交歌)

「思い出アンネ」(ありがとう、消えて行ったアンネ)

「突撃一番どんまいエイズ」(コンドーム・マーチ)

「ねエトマト」(大銀行解体合併・地方小銀行賛歌))

「宝づくし」(宝塚応援歌)

「大阪わるつ」(北で飲んで南で飲んで)

「女ハ男ノナンデショカ」(オトコ・オンナ賛歌)

★「桜井順 CMウンコ大分類」(私家版)

3000曲のCMの中から約100曲をピックアップ、手法に従って分類・解説したもの

★いわゆる「野坂ソング」

「マリリン・モンロー・ノーリターン」(1970年:ヤマハ合歓の郷フェスティバル)「黒の舟唄」(1971年)

「バージン・ブルース」

「花ざかりの森」

「終末のタンゴ」

「大挽歌」

「大懺悔」

「大脱走」

「サメに食われた娘」

「男坂・女坂」

「ヨコスカ・マンボ」

「かもめ3/4」

「野坂唄之新古今集:春・夏・秋・冬」

「おんじょろ節」

「九段の桜」

「古い時計」

「チンタマケの唄」

「沖縄鎮魂歌」(沖縄万博反対キャンペーン)

《ザ・平成唱歌集・巻之一》(2000年)

「赤瀬川夜曲」(老人力の唄)

「トマソン音頭」

「みどりの帽子」

「師走」

「灯台讃歌」

「ダンゴビルの唄」

「再見香港」

「浦安太郎」
「病院唱歌」
「やまと寿唄」

《ザ・平成唱歌集・卷之二》(2001年)

「鳥類研究所」
「タケノコ出タゾ」
「川」
「アイとセイ」(佐藤愛子・田辺聖子に捧げる)
「アバヨ」(友を送るうた)
「沖縄ぶらぶら」
「嗚呼・結婚記念日」(野坂夫妻:歌唱)
「せ・せ・せ〜ヒトケタ春歌」(世直しトリオ:歌唱)
「黒の田植唄」

★NHKみんなのうた／ホームソング・童謡etc.

「小さいあの日に帰りたい」(サトウハチロー作詞／ペギー葉山:歌)
「とんでったバナナ」(片岡 輝・作詞)
「ツッピンとびうお」(中村千栄子・作詞)
「おなかのとけい」(筒井敬介・作詞)
「ぼくのかぞえうた」(小林純一・作詞)
「南のなかま」 (水木ひろし作詞)
「ながいなさん と はやいなさん」(木島始・作詞／古川タク・アニメーション)
「へんなABC」 (水木ひろし作詞)
「ボロゲツ・ブギ」(東 竜男・作詞)
「ぼくのバレンタインデー」(とみた・いちろう:歌)(水木ひろし・作詞)
「顔面新体操」(天地総子:歌)(水木ひろし・作詞)
「そっくり親娘」(天地総子:歌)(水木ひろし・作詞)
「ブギ・ウギ・ゴリラ」(GO-RILLA:歌)(水木ひろし・作詞)

*「黒い方舟」(天地総子・歌／福田毅・画／石塚一義・アニメ化:原発批判ソング
*放送されずオクラとなる／YOUTUBE にアップ

★朝日放送クレハ・ホームソング

「ねむいねむいうた」(サトウ・ハチロー作詞／ボニー・ジャックス:歌)

「かゆいかゆいうた」(サトウ・ハチロー作詞／ボニー・ジャックス:歌)

「てまりうた」(吉岡治:作詞／古賀さと子:歌)

「海は眼をつぶる」(吉岡治:作詞／田中朗:歌)

「鳩笛ならそか」(吉岡治:作詞／野口京子:歌)(私家版)

*1956年に作曲され、2013年に初めての歌唱

★フォーク・ソング

「卒業」 (能 吉利人・作詞／長谷川きよし・作曲:歌)

「かなしい兵隊」(" ")

「心中日本」 (" ")

★グループ・サウンズ

「愛のあらし」 (吉岡治・作詞／ザ・ダウンビーツ:歌)

「白い珊瑚礁」 (" " ")

「白銀のシュプール」(" " ")

「スキーは楽し」 (" " ")

★怨念歌？

「ジュークに風が吹く」(唐十郎・作詞／李礼仙:歌)

★ロック

「サイケな街」(水木ひろし:作詞／万里れい子:歌)(「昭和レジデンス」に収録)

「K・I・ダブルS」(水木ひろし:作詞／万里れい子:歌)(" ")

★合唱曲

「お月さま桃色」(NHK児童合唱団：歌／ヴァイオリン助奏：玉木宏樹)
「ヒロシマ地方の手まり唄」(NHK児童合唱団・歌／ヴァイオリン助奏：玉木宏樹)
「日本唱歌集」岩波文庫より27曲(アカペラ・コーラス／GORILLA：歌)

★番組テーマ曲

「お父さんの季節」(NHK／永六輔：作詞／エノケン主演：歌)
「若い季節」(NHK／永六輔：作詞／ザ・ピーナツ：歌)

★ENKA

「酒・尽・尽」(能 吉利人：作詞／五木ひろし：歌)
「ZANZA」(能 吉利人：作詞／鳥羽一郎：歌)

★TANKA

「野球ゲーム」49首(俵万智・短歌／船木真弓・歌)
「チョコレート革命」43首(俵万智・短歌／船木真弓・歌)

★マザー・グース

「オフオフ・マザーグース」60人歌手による60曲(和田誠・訳詞)
「またまた・マザーグース」60人歌手による60曲(和田誠・訳詞)

★セラピー・ソング集《アルカリ少女》(船木真弓・歌)(水木ひろし・作詞)

「雨・雨」
「いないいないBAR」

「お風呂にお入んなさい」
「ほんのり・愛」
「今朝、ルージュが折れた」

★ピアノ連弾曲

「兎小屋のこどもたち」(10人10手連弾)
「クッキング・トレイン」(5人5手連弾)

★著書

CM詩集《毒》1969年・思潮社刊
小説《日の丸病院》話の特集刊
エッセイ《オノマトピア》電通出版刊／2010年 岩波現代文庫刊